

スポーツ・文化活動

人口368人、高齢化率46.5%

美郷町役場

医療・救急

美郷町民スポーツ祭
(栗田・通川公民館合同)

区長会

社協

産業

美郷町消防団
西郷病院

より広域を活動範囲とする団体【町全体】

南郷高齢者クラブ
グラウンドゴルフ

南郷総合
運動広場

美郷南学園
(幼・小・中一貫教育)

PTA

南郷総合
保健センター

農協

麦林組合

南郷診療所

南郷歯科診療所

JEMS南郷救急隊

より広域のコミュニティ
【住民自治組織連合】

南郷図書館

放課後児童クラブ
(百済キッズ)

若い
お母さん
集いの場

30代女性
集いの場

南郷デイ
サービスセンター

直売所
春直秋実
いっつもや

漁協

麦林組合

南郷診療所

南郷歯科診療所

JEMS南郷救急隊

黒田商店

鬼神野小学校

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野倶楽部

鬼神野魂
母校の絆会議

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

ミニバレー愛好会

鬼神野魂
母校の絆会議

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

グラウンドゴルフ愛好会

鬼神野魂
母校の絆会議

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野白太鼓保存会

鬼神野魂
母校の絆会議

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野白太鼓保存会

鬼神野魂
母校の絆会議

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野舞臺愛好会

鬼神野魂
母校の絆会議

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野舞臺愛好会

鬼神野魂
母校の絆会議

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

岩田利右衛門一

麦の駅実行委員会

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野神社例大祭

麦の駅実行委員会

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野神社氏子会

麦の駅実行委員会

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野神社氏子会

麦の駅実行委員会

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野神社氏子会

麦の駅実行委員会

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野神社氏子会

麦の駅実行委員会

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野神社氏子会

麦の駅実行委員会

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野神社氏子会

麦の駅実行委員会

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

鬼神野神社氏子会

麦の駅実行委員会

鬼神野学区長

鬼神野学区長

民生児童
委員会

社協

産協

消防団
南郷分団
第5部

より広域のコミュニティ(組合・常会等)と
同等の範囲を活動範囲とする団体

常会(毎月)・集金・婦人会(週)・行事・懇親・視察・スポーツ

①鬼神野小学校施設の 有効利用・災害避 難施設	①雇用の維持・拡大	①産業を伸ば す
②鬼神野祭り盛り上 げ隊	②子ども会を中心と した地域交流	②鬼神野小 お寺の有効活 用
③社会教育3団体 未知の活動が期待で きる。	③コミュニティベース の創出(カフェ飲 み)	③空き家等の 住まいの確保

美郷町における地元天気図ワークショップ



美郷町における地元天気図ワークショップ



「診断」から始まる「目標設定」と「地域同士の学び合い」こそ、進化の原動力

研究所ポリシー

1. 今までの地域政策の欠陥

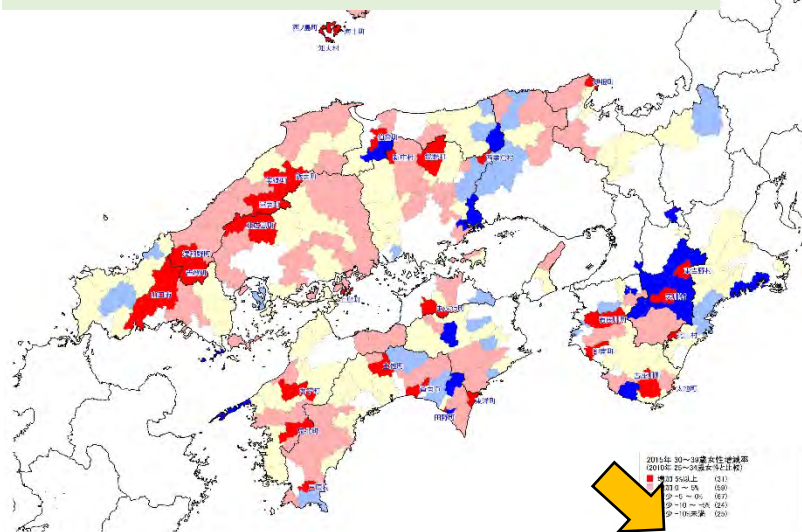
行政の本質とは、現場から始まり、
現場に還る進化サイクル

- (1) きめ細かい現状分析・予測の欠如→地域現場で本当に何が起きているか、わからないまま方針決定
- (2) 行政から地域への一方通行の政策展開→地域同士の学び合いによる共進化、共通する促進・阻害要因析出
- (3) 現状把握から解決への連続性の欠如→分野を横断した連結シミュレーターによる一気通貫型解決システム

2. まず、地域の現状と未来を「見える化」

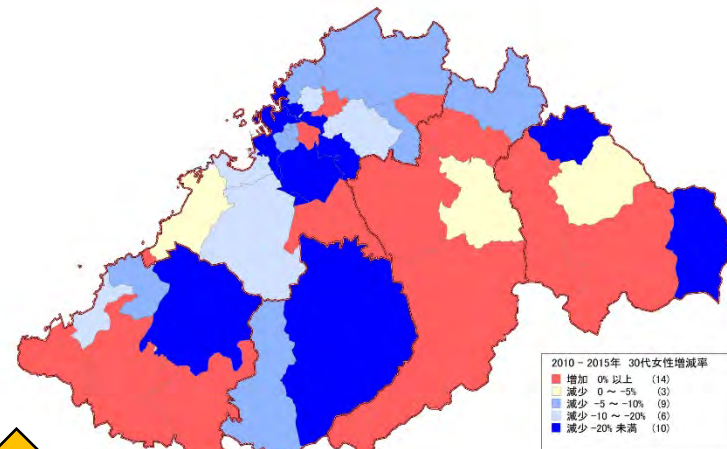
- (1) 例えば、どこで30代女性が増えているか、分析して地図作成。

- (2) 自治体単位で県やブロックごとに



手法
マス・ローカリズム

- (3) 自治体内でコミュニティごとに



- (4) 成果を上げている（上げていない）地域に共通する要因は？

- (5) 自治体・コミュニティ同士の学び合いへ

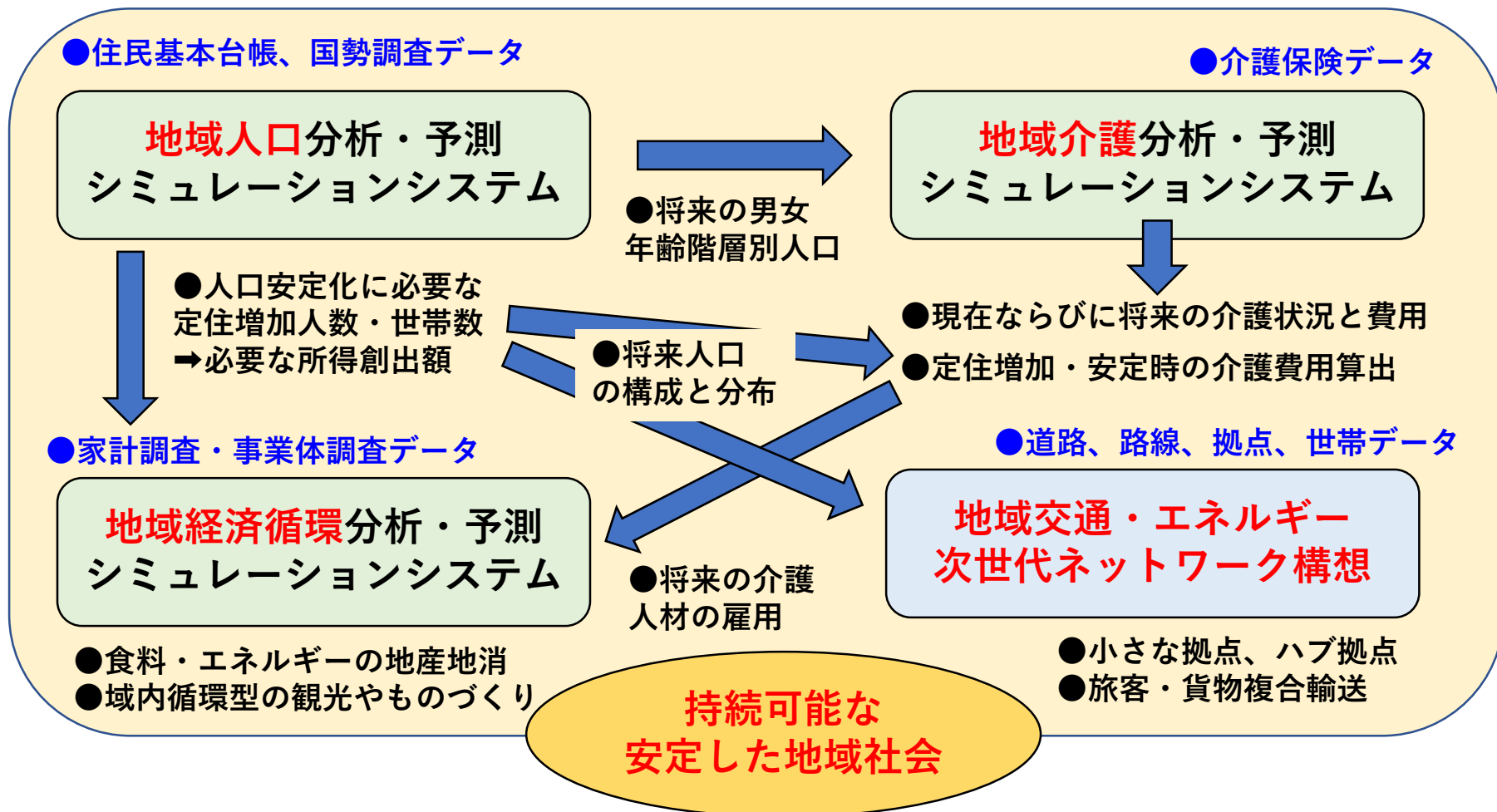
相乗効果

- (6) 現場のエビデンスに基づく地域政策の形成へ

48 「自分と同じようなところはどうしてる!？」

「現場で有効性を証明済みの政策で確実な進歩へ」

3. 現状把握から問題解決へ～分野を横断したシミュレーター・リンクシステム



4. 持続可能な地域社会に共に進化していく重層的な地域づくりリーグ

